



令和元年度 学校教育における ESD推進学習会

～SDGsを用いた主体的・対話的で深い学び～

参加費
無料

明快な解がない複雑な時代となった昨今、私たちの行動や社会も今までの考え方から変革が求められています。持続可能な地域づくりに向けて、文科省では次期学習指導要領に「持続可能な社会の創り手」の育成を掲げ、日本を含め世界ではSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みが進められています。両者に共通する言葉は「持続可能」。誰もが暮らしやすい社会を将来にわたってつくっていくために、その担い手の教育においても変革が求められています。

本学習会では、中学校・高等学校の先生を主な対象として、複雑な時代における教育のあり方の情報共有を図るとともに、SDGsをツールとしたESD(持続可能な開発のための教育)授業実践事例について、実践者間の情報共有・意見交換の場を設け、各校における実践上の課題解決と、学校を越えたつながりづくりを目的とします。

日時

2019年12月8日(日) 14:00～17:00

会場

札幌エルプラザ公共4施設 2階 会議室1・2
(札幌市北区北8条西3丁目)

対象

SDGs・ESDに関わる取り組みを行う**中学校・高等学校の先生方 20名**

※講演はSDGs・ESDに関わる取り組みを行う方であればオブザーバー参加歓迎です！(先着順)

内容

★講演

「SDGs時代におけるESDの推進」

講師: 日本ESD学会副会長 手島 利夫さん



手島 利夫(てじま・としお)さんプロフィール

★実践事例発表

※発表学校については調整中。

★意見交換「主体的・対話的で深い学びに向けて」

助言: 日本ESD学会副会長 手島 利夫さん

東京都江東区東雲小学校・八名川小学校の校長を歴任し、ユネスコスクールとしてESDカレンダーの開発やESDの推進に携わり、現在に至る。2007年から11年間ESD円卓会議委員を務める。2014年ESD世界会議に参加。2017年八名川小学校がジャパンSDGsアワード特別賞を受賞。2018年退職し、ホームページ「ESD・SDGsを推進する手島利夫の研究室」を開設。ESD、SDGsを中心として、年間70回以上講演や授業提供などに取り組むとともに、国内外の約1,800名に向けて不定期のメールマガジン「ESDGs通信」を発信中。共著に「未来をつくる教育ESDのすすめ」(日本標準ブックレット2008年)単著に「学校発・ESDの学び」(教育出版2017年)がある。

お申し込みはTEL、メールまたはQRコードよりお願いします！

北海道地方ESD活動支援センター 担当: 大崎

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11大五ビル7階 EPO北海道内

TEL:011-596-0921 FAX:011-596-0931 メール:inf@hokkaido-esdcenter.jp

H P:https://epohok.jp/



※ESD活動支援センターは、文部科学省と環境省の共同提案により全国8ブロックにESDの支援・推進を目的に設置されました。北海道地方ESD活動支援センターは、公益財団法人北海道環境財団が環境省北海道地方環境事務所と協働で運営しています。

お申込み

お問い合わせ

[主催]北海道地方ESD活動支援センター [共催]札幌市

[後援]文部科学省ユネスコ国内委員会、北海道教育委員会、札幌市教委員会(申請中)